



N B U LIBRARY NEWS



いつだって、読書日和

読書週間 10/27 Start



読書週間にもおすすめ！話題の芥川賞・直木賞受賞作品あります！

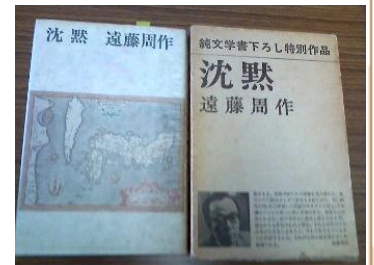
	<p>火花 著：又吉直樹 笑いとは何か、人間とは何かを書いた作品。 『文學界』を史上初の大増刷に導いた話題作。</p>
	<p>スクラップ・アンド・ビルド 著：羽田圭介 死を願う祖父と、無職の孫の介護的生活。二人の距離感をユーモラスに描いた家族小説。</p>
	<p>流 著：東山彰良 大陸から台湾、そして日本へ。歴史に刻まれた、一家の流浪と決断の奇跡の物語。</p>



第5回 経営経済学科准教授 清水孝子先生 遠藤周作著『沈黙』との再会

私が薦める この一冊

古い書棚を整理中、遠藤周作の『沈黙』（1966年）を発見。1973年版44刷とある。40年以上の歳月を経ての再会。物語では、キリスト教宣教師たちの棄教に至る心の内が語られる。先に伝道活動を始めていた恩師フェレイラの棄教の事実を確かめるべく来日したロドリゴ。穴吊りの拷問を受ける信徒たちの呻き声に「沈黙する神」に絶望して、棄教したと語るフェレイラ。そして、信徒でもあったキチジローの密告により、同じ立場に立たされるロドリゴ。彼も同様に踏み絵を踏む。本書の終盤10頁程のフェレイラとロドリゴのやりとりは圧巻。その最後を、「…銅板のあの人は司祭にむかって言った。踏むがいい。お前の足の痛みを私が一番よく知っている。…私はお前たちに踏まれるため、この世に生れ、お前たちの痛みを分つため十字架を背負ったのだ。こうして司祭が踏み絵に足をかけた時、朝が来た。鶏が鳴いた。」と、締めくくる。



再読後、本書のメッセージは、「過酷な風土で生れた God を中枢に置く世界観と、日本のような農耕地帯から生れた神々を信ずる世界観との共生の道を考えろ」ということだったのでないかと。「踏み絵を踏む」からとって「棄教する」ということではないという日本的考え方は、ある意味、「寛容」とも捉えられる。一方、曖昧なことを是としない考え方は、ある意味、「不寛容」とも捉えられる。とはいえ、ロドリゴにとって、「踏み絵を踏む」行為は、苦渋の選択であったはず。「魂の世界での和解」を暗示させる『沈黙』。「今の時代」だからこそ、心に響く一冊だと思う。

*清水先生お薦めの本は2階『おすすめ図書コーナー』に置いています。

図書館ゲートが

新しくなりました!

図書館入口が**自動ドア**に、入館ゲートが**自動開閉**式になりました。入館ゲートは手で開閉しないよう注意してください。



入館ゲートへの、**駆け込みは危険です**。
ゲートが開いたのを確認してから、入るよう
にしましょう。



図書館トリビア

今年9月に太宰治が、芥川賞の授賞を選考委員である佐藤春夫に懇願していた、長さ4.1メートルに及ぶ手紙が見つかりました。「第2回芥川賞は、私に下さいますよう、伏して懇願申し上げます」という内容が書かれており、大きなニュースにもなりました。

芥川賞は菊池寛によって1934年に創立され、現在もメディアに多く取り上げられている文学賞です。その第1回目の候補作の1つに上った太宰は、自身が芥川龍之介に強い憧れを抱いており、その名前を冠した賞を受賞したい!という気持ちと、金銭的に困窮していたこともあり、副賞の500円(現在の価値で約37万円)を切望していたとされています。しかし、第1回目の授賞は石川達三の「蒼氓」となり、**2回目以降も太宰が芥川賞を受賞する事はありませんでした。**

現在、芥川賞・直木賞共に153回目となりました。副賞の500円は、現在では100万円と変わりましたが、正賞の懐中時計は1回目から変わらず授与されています。

なぜ正賞が賞金ではなく、懐中時計なのでしょうか。『明治から第2次世界大戦頃まで、大学では成績優秀者に褒章として銀時計が授与されていたその名残』という説や、『当初賞金のみを考えていたが、記念に残る品物を正賞にすべきという意見が出た』『芥川賞を目指す文学者は誰しも貧しく、高く質に入れられるように懐中時計にした』という説もあります。

芥川賞・直木賞以外の文学賞でも正賞を時計とする賞も多く、他には賞碑や硯、ブロンズ像にクリスタルトロフィーなど様々です。通常私たちの目に触れる事がない品物ですが、**展示会や記念館等で実際に見ることが**できる機会もあります。「本を読む」以外にも**「見て」楽しめる文学の世界**に触れてみてはいかがでしょうか。



- 11月 NOVEMBER -						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					



冬期休暇に合わせた、長期貸出を行います。

貸出開始日：12月15日

返却期限：1月8日

休館日
8:30~20:00
8:30~18:00
8:30~17:00

*医療専門学校図書と一般の方は長期貸出になりません。

- 12月 DECEMBER -						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		